

2. 事業の概要と成果	
(1) プロジェクト目標の達成度 (今期事業達成目標)	【上位目標】バタンバン市中央幼稚園における図書館活動の取り組みがバタンバン州内の公立幼稚園に広がる。 【プロジェクト目標】バタンバン市において図書館活動を中心としたモデル中央幼稚園が設立される。 達成状況： 本事業を通じて、バタンバン市内において幼児用図書室を有する最初の中央幼稚園が設立された。幼児向けの図書や年代に応じた教材を備えた図書室は先進的である一方、将来的に他幼稚園で図書室が設立される際には、本事業で設立した図書室のデザイン（幼児の身長に合った家具、年代や発達に合わせた教材等）が見本になっていくことを考慮し、現地で入手可能かつ複製がしやすい家具や教材を取り入れる工夫をしたことで汎用性を確保した。これらから、同幼稚園をモデルとした図書室運営の手法や図書館活動の実践事例が他の幼稚園においても波及していく事が期待できる。 上位目標の達成見込みを判断するには時期尚早であるが、バタンバン州全体の幼稚園運営を統括する州教育局レベルにおいても本事業への積極的な参画がみられた。教育行政からトップダウンで、また、地域の核としての役割を担う対象幼稚園から、図書館活動の良い実践事例が更に周辺幼稚園へ広まり、草の根的に当該地域の幼児教育の質が向上していく事が期待できる。
(2) 事業内容	<u>以下、事業変更申請を行った事項を除き、申請書に記載した事業内容を変更することなく実施した。</u> <u>活動1 園舎及び園庭の整備</u> バタンバン市中央幼稚園にて鉄筋コンクリート構造の2階建て園舎（教室5室、トイレ15基室、図書室1室）を建設した。2019年6月に着工、翌2020年3月に竣工した。また、各教室に家具・資材の配布、園庭の環境整備及びモニタリングを実施した。 2020年3月に予定していた教員に対する園舎の維持・管理研修及び園舎の贈呈式は、新型コロナウイルス感染症（以下COVID-19）の影響により教育施設の閉鎖および教育・青年・スポーツ省（以下、教育省）所属公務員の活動自粛要請が出されたため、事業期間内の活動を取りやめた。しかしながら本事業での取り組みの持続発展性を担保する観点から、維持・管理研修は6月中旬に当会の負担において規模を縮小し実施した。 <u>活動2 図書室及び図書コーナーの整備</u> 新園舎の5教室及び図書室に家具、教材、対象幼稚園のニーズを踏まえて選書した図書合計664冊を配布、環境整備を実施した。装飾や図書の配架は対象幼稚園図書館員と教員が中心となって行われた。加えて、配布した図書の登録作業や配架状況、家具及び教材の設置状況のモニタリングを実施した。 <u>活動3 図書館員及び幼稚園教員の能力強化、保護者への啓発</u> 2019年9月に幼児教育のための教材制作研修を実施し、インストラクター含め28名が参加し、安価で入手可能な素材や身近な廃材を利用した教材制作や活用方法について学んだ。10月には訪日研修を実施し、対象幼稚園教員および図書館員、州教育局職員、教育省幼児教育局職員等計10名が参加、日本の幼児教育現場及び関連施設において日本の幼児教育と図書館活動について学んだ【訪日研修の詳細は別添1参照】。2020年2月には対象幼稚園教員・図書館員、州・郡教育局職員、近隣で図書室を有する小学校併設幼稚園教員等30名が参加し、幼児教育のための図書室活動研修を実施した。バタンバン市内

	の幼稚園同士の月例テクニカル・ミーティングにおいては、対象幼稚園の教員が本事業の研修や活動を通じて得た知見や実践例の共有をしているが、図書館活動が本格化するのには幼稚園再開以降になるため、教育局と連携し引き続きフォローアップを行う。 家庭での読書推進のための保護者を対象とした啓発活動を新学年度開始の2019年11月に実施、保護者36名が参加した。3回実施を目標としていたが、COVID-19の影響で2回の実施は取りやめとした。代替として啓発用の保護者向けリーフレット及びポスターを対象幼稚園に配布した【別添2-1, 2-2 参照】。事業終了後は対象幼稚園が主体となり、図書館をはじめ供与したリソースを活用し、保護者に対し幼児期における読書の重要性や発達への効果についての理解促進を継続する。
(3) 達成された成果	本事業で取り組んだ上記活動の成果について、下記の指標に基づいて確認した。なお、本報告書作成時点での、直接裨益者数と間接裨益者数は以下の通りである。() 内は事業申請書記載の裨益者数。 【直接裨益者数】 - バッタンバン中央幼稚園教員（図書館員を含む）：12名（11名） - バッタンバン中央幼稚園幼児：479名：男児261名／女児218名（451名：男児239名／女児212名） - バッタンバン州教育局幼児教育課職員：7名（7名） - バッタンバン市教育局幼児教育担当職員：2名（2名） 【間接裨益者数】 - バッタンバン市内の公立幼稚園教員：78名（68名） - バッタンバン市内の幼児（3 - 5才）：10,585名（9,949名） <u>期待される成果1：幼児向けのモデル園舎および園庭が整備される</u> 【指標1-1】幼稚園の園舎および園庭が教育省基準を満たしている。 【達成度】園舎の建設完了により、教室数は現在の5教室から10教室に増加したことで、教育省の定める25名定員を下回り、1教室あたりの幼児数は事業実施前の45.1名から24名に低下した【教育省基準は別添3参照】。園庭についても、基準に基づき、外水道設置による水へのアクセス改善、適切な遊具や砂場が整備された。よって指標1-1は達成された。 【指標1-2】：場づくりチェックリストのスコアの平均値が「良い」以上である。 【達成度】当会で作成した場づくりのチェックリスト【チェック項目は別添4参照】では、①供与資機材が配備されているかどうか、②配備された資機材が「幼児教育活動で活用できる状況かどうか」の2項目を4段階評価（悪い、中程度、良い、とても良い）で確認したところ、平均点は、4点満点中2.4点となり、「中程度」以上、「良い」以下となっている。園庭においては、4点満点中3点となった。指標1-2は、「スコアの平均点が良い」以上としていることから、指数換算で3点以上が必要であるため、園庭項目では達成した一方で、場づくり項目では達成に至らなかった。達成に至らなかった主な要因としては、COVID-19の影響により、2020年3月16日以降、現在（2020年6月末）まで対象幼稚園が閉鎖されており、そのため教室の活用が開始されておらず、活用準備が遅延していることが背景として挙げられる。これに対しては、幼稚園の活動が再開され次第、教育局と連携しモニタリングを行い、配備された資機材が適切に活用されるようフォローアップを実施する。 <u>期待される成果2：幼児向けのモデル図書室・図書コーナーが整備さ</u>

れる。

【指標 2-1】図書室環境チェックリストのスコアの平均値が「良い」以上である。

【達成度】当会で作成した 14 項目からなる図書室環境チェックリスト（4 段階評価、『悪い、中程度、良い、とても良い』）に基づき評価を実施した結果、スコアの平均値は「良い」となった【チェック項目は別添 5 参照】。もっとも評価が高かった項目は、供与された図書などの登録がすべてなされており、また項目ごとに配架されているという点であった。よって指標 2-1 は達成された。

期待される成果 3：幼稚部教員および図書館員が、保護者と協力して、図書室を日々の活動で効果的に活用するための実践的な知識と技能を身に着ける。

【指標 3-1】「幼児教育のための図書室活用研修」参加者の 80%以上が事前・事後テストのスコアを向上させる。

【達成度】研修参加者（24 名）への研修自己評価テストにおいてスコアの比較を実施したところ、研修前と比較し、平均 11.3 点（32 点満点）のスコア向上が見られた【テスト内容は別添 6 参照】。これにより、参加者の 96%（23 名）がスコアを向上させた。よって指標 3-1 は達成された。

【指標 3-2（変更前）】「幼児教育のための教材制作研修」参加者の 80%以上が事前・事後テストのスコアを向上させる。

【指標 3-2（変更後）】「幼児教育のための教材制作研修」参加者の事後テストの平均点スコアが 80 点を超える。

【変更理由】当初の指標では、「事後のスコアが向上する」としていたが、本研修は教員の指導技能強化の一環であり、研修成果として、日々の実践に向けた高い理解及び習得度が要求されることから、研修後の理解度結果を重要視し、指標を変更した。

【達成度】研修参加者（28 名）への事後テスト結果では、研修内容の妥当性、講師の質、研修内容の全体理解度などからなる研修参加達成度項目全 7 項目の平均点が 4 点満点で 3.38 点（100 点満点換算で 84.5 点）、教材を活用した指導計画教材の作り方などからなる教材活用技能項目全 4 項目の平均点で 4 点満点中 3.64 点（100 点満点換算で 91 点）となった【テスト内容は別添 6 参照】。よって指標 3-2 は達成された。

【指標 3-3】幼児向け図書館活動に関する訪日研修の参加者の 80%以上が事前・事後テストのスコアを向上させる。

【達成度】研修参加者（10 名）への研修自己評価テストにおいてスコアの比較を実施したところ、研修前と比較し、平均 11.6 点（28 点満点）のスコア向上が見られた【テスト内容は別添 6 参照】。参加者の 100%（10 名）がスコアを向上させた。よって指標 3-3 は達成された。

【指標 3-4】保護者向けの読書推進啓発活動が最低 3 回実施される。

【達成度】2019 年 11 月に幼児教育における読書の効用、教員による読み聞かせ、親子での自由読書を通じて読書推進啓発を実施し、36 名が参加した。図書室が整備された後、2020 年 3 月下旬に多くの保護者が会する機会を活用し、2 回目、3 回目の実施を予定していた

	が、COVID-19 の感染拡大の影響により中止となったため、1 回の実施に留まった。今後の学校再開時期に合わせて、当会がフォローし、作成したリーフレットを活用した啓発活動を実施する予定である。 <u>「持続可能な開発目標 (SDGs) に該当する目標における成果</u> 【目標】ターゲット 4.2 「2030 年までにすべての子どもが男女の区別なく、質の高い乳幼児の発達・ケア及び就学前教育を受けることにより、初等教育を受ける準備が整うようにする」 【達成度】本事業の実施により、「遊びや環境を通した学び」を通じ、幼児の発達を促進するようデザインされた家具や教材、図書を備えた教室、図書室などの魅力的な環境を整備することが出来た。また対象幼稚園は当該地域のモデル幼稚園として、本事業を通じて得た学びや知見、実践例をグッド・プラクティスとして近隣幼稚園に広め、地域全体の幼児教育の質の底上げに取り組むことができた結果、対象幼稚園および、周辺幼稚園への質の高い幼児教育の提供に貢献した。
(4) 持続発展性	園舎建設について、園舎は対象幼稚園に譲渡され、対象幼稚園及び所管のバタンバン州および市教育局の責任のもとで維持管理される。また竣工 1 年後に瑕疵検査を実施する。 図書室を持続的に活用、運用していくためには、利用者のニーズに応じて新しい図書の配架を継続することも重要である。本事業の研修においても、幼稚園が新しい図書の購入や図書館活動の充実化を目的に対象幼稚園が自立して資金調達を行うことを推進しており、対象幼稚園では不定期であるものの寄付を募るなどの取り組みをすでに開始していることが確認されている。さらに、本事業で能力強化の対象となった人材については、当会が 2020 年後期より実施予定の幼児教育事業において研修トレーナー等のリソースパーソンとして起用し、同幼稚園での活動の発展にとどまらず、当該地域全体の更なる幼児教育の質向上にむけて連携していくことから、高い意欲の確保が期待されている。